

生産活動開拓モデル事業 実績報告書

法人名: 株式会社 HooperDooper

事業所名: 就労継続支援B型事業所 sabot

サービス種別: 就労継続支援B型

対象事業	(2) 商品の生産方法の改善事業
事業実施前の状況・課題	・動画編集を外部より請け負っており、その編集作業に事務用PC (Windows)を使用していた ・PCの処理能力が原因で制作する動画の編集に制限があった ・取引先の使用端末(Apple製)との互換性が悪く、やり取りが煩雑だった
事業の内容	動画編集専用端末(Apple製のノートPC)を導入し、現在の制作体制を改善し受注形式を見直すことで、生産性の向上に取り組んだ
事業の実績・効果 (※1)	※「生産活動開拓モデル事業 実績報告書(別添資料)」参照
今後の課題・取組み	【課題】 ・売上高の継続 ・従事する利用者の不足 【取組】 ・新規顧客の開拓 ・利用者への技術的指導
対象経費の支出済額	228,800 円
経費の内訳 (※2)	・動画編集用PC本体……………228,800円(税込)
補助金所要額	200,000 円
担当者名・連絡先	代表取締役 大山琴子/施設長 紀ノ岡健翔 (TEL 06-7897-0011)

※1 「事業の実績・効果」が確認できる資料(事業実施前との比較、成果物等がわかるもの)を添付すること。

※2 「経費の内訳」及び支払った事実が確認できる書類(領収書等)を添付すること。

生産活動開拓モデル事業 実績報告書(別添資料)

1. 実施前の課題

実施前の状況として、以下の課題が存在していました。

- [課題 1] 事務用の年式が古い PC (Windows) を使用していた
- [課題 2] 取引先の使用端末 (Apple 製) との互換性が悪く、やり取りが煩雑だった
- [課題 3] PC の処理能力が原因で制作する動画の編集に制限があった

2. 実施事業

実施した事業は以下の通りです。

- ・ 動画編集専用端末 (Apple 製のノート PC) の導入
- ・ 制作体制の改善、受注形式の見直し



3. 実績

実施前後の実績は以下の通りです。

指標	R6.8~R6.12 (導入前)	R7.1~R7.2 (導入後)	増減
売上高 (平均値)	35,000 円	70,000 円	+100%
作成本数 (平均値)	3.5 本	7 本	+100%

4. 効果

本事業の実施により、以下の効果が得られました。

- ・ 制作体制：動画編集ソフトでの処理速度が向上 (バグやフリーズ等の解消)
接触不良であったキーボードの操作性が改善
- ・ 受注形式：動画ファイルの受け取り、納品の際のフォーマット確認・調整作業を省略
AirDrop 機能を用いて無線でのデータ受け渡しが可能に

以上、令和 6 年度の生産活動開拓モデル事業の実績報告となります。